

施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	Ⅱ-8-(1)		
政策体系	施策名	地域の元気の創造	所管部局名	企画振興部		長期総合計画頁	107
	政策名	活力みなぎる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部、生活環境部、商工観光労働部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	元気で活気あふれる地域づくりの推進	特徴ある地域づくりの展開	地域づくりの担い手の確保・育成	空き家を利活用した地域づくりの推進
取組No.	⑤			
取組項目	地域に活力を生み出す 経済基盤の安定と仕事づくり			

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)								
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125				
i 地域活力づくり取組件数(件・累計)	①②③ ④⑤	H26	645	1,200	1,158	96.5%	1,800									
ii 空き家の利活用数(空き家バンクの活用数)(件・累計)	④	H30	312	325	357	109.8%	400									

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等		平均評価
i 概ね達成	県内各地域で地域資源を生かした活力づくりに取り組んだ結果、目標値を概ね達成した。		達成
ii 達成	移住者居住支援事業費補助金と空き家バンクとの連携により、空き家の利活用が進み、目標値を達成した。		

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・ラグビーワールドカップ2019大分開催を契機に、国宝、ユネスコエコパーク、日本遺産等の国際的なブランド力を活かした誘客対策の強化により、インバウンドの増加、地域と来県客の交流による地域の元気の創造が図られた。
②	・国東半島の現代アート群をさらに充実させるため、新たな制作に関する調査を実施し、R2年度の設置場所及びアーティストの候補を選定した。 ・ジオパークの魅力を県内外に広く発信するため、全国大会を開催するとともに、ガイドのスキルアップなど受入環境の整備を進めた。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、講演会や福岡等でのPR活動を行うとともに、エリア内を車で巡るルートを設定した。
③	・地域おこし協力隊員のネットワーク化や、OB、OGによる定期訪問などにより、隊員の活動環境の充実化が計られた。 ・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいだツーリズム大学の修了生が累計322名となった。(R1年度新規修了生24名)
④	・家賃補助の追加など充実した移住者支援メニューにより、前年度を上回る空き家バンクの利活用数となった。
⑤	・県内6振興局ごとの特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組んだ。(Ⅱ-8-(2)参照)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	地域活力づくり総合補助金	96.5	236
②	芸術文化による地域おこし事業	132.2	298
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業 おおいだジオパーク推進事業	80.8 177.9	58 58
③	ふるさと大分UIJターン推進事業	84.0	138
	おもてなし人材育成事業	82.1	209
④	移住者居住支援事業	84.0	138

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回活力部会(R1.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーリズムではコミュニケーション、意思疎通が大事。</li> <li>・情報発信ができる若者も増えてきたが、それをどう地域につなげていくかが重要。</li> <li>・行政職員も移住者に近く、一緒にやっていく場面も多いため、行政と市民のコミュニケーションも大事。</li> </ul> <p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会第3回発展部会(R1.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他県から人を呼び込み、定着させられる産業や仕組みが必要。</li> </ul>	<p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会第4回活力部会(R1.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の活用に対する方策、建物の保存の仕組みづくり等を検討していただきたい。</li> </ul> <p>○「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」重要業績評価指標(R2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫島、豊後大野ジオパーク、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク、阿蘇くじゅう国立公園など十分に魅力的なコンテンツがあるが、大分県の財産である自然要素を発信しきれていないと感じる。</li> </ul>
---	---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスで疲弊した地域経済・社会の復興につながる取り組みを支援するとともに、地域の遊休資源である廃校を活用した移住・定住策など、地方創生に資する取り組みを推進する。</li> <li>・芸術文化団体や市町村等と連携し、芸術文化や歴史等を地域資源として活用し、優れた芸術文化活動を展開することで交流人口の増加や移住・定住につなげる。</li> <li>・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいだツーリズム大学において、実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。</li> </ul>